

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成18年11月22日(水) 5校時

児 童 2年1組 男8名 女15名 計23名

指導者 大坂佳世

1 単元名 ようすを考えて読もう

2 教材名 お手紙

3 単元について

(1) 児童について

児童はこれまで、「ふきのとう」や「スイミー」で、場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読むこと、語や文のまとまりや声の大きさなどに注意して読むことを学習してきた。これらの学習を通して、登場人物の気持ちを想像し、ふきだしに書き入れたり、動作化や劇化を取り入れて場面の様子を思い描いたりすることはできるようになってきた。また、児童は読書が好きで、読み聞かせや朝読書を楽しみにしている。しかし、想像したことを自分の言葉で表現することは十分とは言えない。音読にも積極的な児童が多いが、読み取った場面の様子などを、音読で表現しようとする児童は少なく、不十分である。

(2) 教材について

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる」ことである。この目標を達成するために、本単元では「ウ、場面の様子などについて、想像を広げながら読むこと」「エ、語や文としてのまとまりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読むこと」が必要である。

本教材は、ちよっぴりわがままで自分勝手なところのあるがまくんと、一生懸命相手に優しい言葉をかけるかえるくんの、ほのぼのとした温かい友情を感じ取ることができる作品である。がまくんは、「だれも、ぼくにお手紙なんか…」と言いながらも心のどこかでお手紙を待っている。だから、かえるくんからのお手紙を知ったときの喜びは大きい。「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」という言葉に表される、がまくんの感動をしっかりと感じ取らせたい。また、かえるくんは、がまくんの悲しみを自分のものとしてとらえ、友達を喜ばせるためにお手紙を出す。かえるくんのお手紙によって、がまくんは友情の素晴らしさに気付き、かえるくんはがまくんの喜ぶ姿を見て幸せを感じる。

子供達は、お手紙をもらったことがない寂しさから悲観的になってしまうがまくんや、がまくんを励まそうと内緒で手紙を出すかえるくんの優しさに共感しながら、二人の友情に気付き、想像を広げて読み進めていくことができるだろう。

(3) 人権教育の観点から

人権理解にかかわって

思いやりの心を育てることについて、児童は友達に優しくすることや、思いやりをもって行動することを教えられてきた。友達と仲良くすごしたいという意識は持っており、一緒に楽しく遊んだり勉強したりすることができる。しかし、友達に感謝の気持ちを表したり、自ら進んで友達のためになることをしたりできる児童はごく一部である。そこで本単元では、二人の友情に焦点を当て、友達に感謝する心や、友達を思いやる心を育てたい。

育てたい力について

「思考力・判断力」にかかわって

時間を十分に保障することによって、場面の様子や登場人物の言動、気持ちを考える力、登場人物の気持ちがよく表れるように音読する力をつけたい。

「受容力」にかかわって

単元を通してグループ学習を行い、お互いの考えや音読を聞き合う機会を設ける。また、友達の考えの良いところや自分との違いを見つけ、全体に発表させ、互いに聞き合わせたい。

「表現力・行動力」にかかわって

場面の様子や登場人物の気持ちを想像し、ワークシートに書き込んだことをグループで発表したり、音読の工夫をしたりする活動をさせる。それらを通して自分の想像したことを相手に伝える力と、登場人物の様子に合わせた表現をする力を育てたい。

(4) 指導にあたって

本教材では、お手紙をもらったがまくんの感動や、がまくんを喜ばせようとしたかえるくんの優しい気持ちに気付かせ、二人の温かな友情を感じ取らせたい。そのため、挿絵や二人の会話に注目し、気持ちや様子を想像しながら読んでいきたい。また、役割読みやペープサートを用いた音読を行うことで、より登場人物の気持ちや様子を想像することができると考える。音読発表会では良かったところや工夫していたところを発表し合い、友達の良さに気付かせたい。また、「ふたり」シリーズの他の本も紹介し、更に読みを深めさせたい。

4 単元の目標

登場人物の気持ちや場面の様子について想像しながら、楽しく読もうとしている。(関意態)

場面の様子などについて、想像を広げながら読むこと。(読ウ)

語や文としてのまとめりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読むこと。(読工)

文の中における主語と述語の関係に注意すること。(言語工(ア))

5 単元指導計画(18時間)

段階	学習内容	評価規準		
		関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
第一次	1～3 あらすじをとらえ、学習計画を考える。	意欲的に感想を書こうとしたり、学習の見通しを持つとしたりしている。	あらすじを捉えながら、おもしろかったところや好きなところを見つけている。	「誰が どうした」に注意して読んでいる。
第二次	4 がまくんとかえるくんが悲しい気分になった理由や、二人の様子を読み取る。	二人が悲しんでいる理由や様子を読み取るうとしている。	二人が悲しい気分になった理由を捉え、様子について想像を広げながら読んでいる。	「誰が どうした」に注意して読んでいる。
	5 手紙を書いたかえるくんの様子を読み取る。	手紙を書いてかたつむりくんに託したかえるくんの優しい心遣いを、読み取るうとしている。	かえるくんの言動から、がまくんに対するかえるくんの優しさについて想像を広げながら読んでいる。	「誰が どうした」に注意して読んでいる。
	6 がまくんとかえるくんの言動を比べながら、二人の様子を読み取る。	手紙が届くのが待ちきれないかえるくんと、悲観的になるがまくんの様子を読み取るうとしている。	二人の言動や気持ちを対比的に捉え、様子について想像を広げながら読んでいる。	「誰が どうした」に注意して読んでいる。

	7がまくんとかえるくんが幸せな気持ちになった理由や手紙を待つ二人の様子を読み取る。(本時)	二人が幸せな気持ちになった理由や、手紙を待つ二人の様子を読み取ろうとしている。	二人が幸せな気持ちになった理由を捉え、その様子について想像を広げながら読んでいる。	「誰が どうした」に注意して読んでいる。
	8まとめの学習をする。	好きな場面を選び、感想を書こうとしている。	物語の全容を想起し、好きな場面を見つけている。	
第三次	9～12グループになって役割を決め、音読発表会をする。	登場人物の気持ちや様子を考えて音読しようとしたり、友達の音読を聞いて良いところを進んで見つけようとしたりしている。	登場人物の気持ちや様子を考えて、読み方を工夫して音読している。	「誰が どうした」に注意して読んでいる。
第四次	13～14手紙を書き、発表する。	進んで手紙を書き、発表しようとしている。		
第五次	15～18主語と述語の意味を理解し、整った文を書く。	主語と述語の整った文を書こうとしている。		「何が どうした」という主語と述語の関係を理解する。

6 評価規準

	A 十分満足	B 概ね満足	C への支援
関心・意欲・態度	・物語を楽しみ、登場人物の気持ちや場面の様子について、想像を広げながら読もうとしている。	・登場人物の気持ちや場面の様子について想像しながら、楽しく読もうとしている。	・「ふたり」シリーズの他の作品を紹介し、興味をもって物語の世界に入っていけるようにする。
読むこと	・会話文から登場人物の気持ちを考え、場面の様子を想像して読み、二人の関わり合いについて考えることができる。 ・登場人物の気持ちや場面の様子などがよく表れるように、読み取ったことを生かして音読している。	・会話文から登場人物の気持ちを考え、場面の様子を想像して読んでいる。 ・登場人物の気持ちが表れるように、自分なりに工夫して音読している。	・挿絵や会話に着目させ、二人の気持ちや場面の様子を考えさせる。 ・ペープサートなどを用いて、登場人物になりきって音読できるようにする。

7 本時の指導

(1) 目標

がまくんとかえるくんの言動や手紙から、二人の幸せな様子を読み取ることができる。

(2) 人権教育の観点から

思いやりの心を育てるために、本時はがまくんとかえるくんが幸せな気持ちになった理由を考え、お手紙を待つ二人の様子を読み取らせる。叙述や挿絵から、かえるくんがお手紙を出してくれたことを知り、感動するがまくんの気持ちや、手紙をもらって喜ぶがまくんを見て幸せになるかえるくんの気持ちを想像させたい。これらを通して、友情のすばらしさに気づかせ、友達に感謝する心や、友達を思いやる心を育てたい。

また、グループ学びと全体学びにおいては、自分と異なる考えでも受け入れ、友達の意見の良いところを見つけることによって、認め合いを行わせる。自分の考えだけでなく友達の考えも大切にできる態度に結び付けたい。

(3) 展開 (7 / 18 時)

段階	学 習 活 動	予想される反応 指導上の留意点・支援 ()	評価 () 人権教育の観点 ()
つ か む 5 分	<p>1 前時の学習内容を想起する。</p> <p>2 学習の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>お手紙が来るのをまっている、ふたりのようすを考えよう。</p> </div>	<p>手紙を待つことにあきあきしているがまくんと、がまくんを何とか元気付けようとするかえるくんの様子を想起させる。</p> <p>本時の課題は二人の様子を考えることであることを強調し、学習に対する見直しを持たせる。</p>	<p>課題をつかみ、本時の学習内容を意識することができたか。(観察・発言)</p>
考 え る	<p>3 学習場面を音読する。 ・指名読み ・役割読み</p> <p>4 がまくんがどんなところを「とてもいいお手紙だ」と言ったのか考える。</p> <p>5 手紙を待つ二人の様子を想像する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>自ら考える場</p> </div>	<p>2 名程度、指名読みさせる。 役割読みで、誰の会話文か確認する。</p> <p>がまくんはどんなところを「とてもいいお手紙だ」と言ったのか考えさせる。 ・かえるくんが親友と言ってくれたから。 ・親友でうれしいと書いてあったから。 「親友」という言葉の意味について考えさせる。</p> <p>二人が「とてもしあわせな気持ち」で座っていたことを確認する。 ワークシートを用いて、二人がどんなことを考えながら座っていたのか考えさせる。</p>	<p>主述をもとに、誰の会話文か理解することができたか。 (音読) がまくんがかえるくんの友情に感激した様子を感じ取らせる。 <思考力></p>

<p style="text-align: center;">深める</p> <p style="text-align: center;">35分</p>	<p style="text-align: center;">互いに認め合う場</p>	<p><がまくん></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お手紙が早く来ないかな。 ・初めて手紙をもらえぞ。嬉しいな。 ・お手紙をもらえて幸せだなあ。 ・かえるくんが「親友」と思ってくれて嬉しいな。 <p><かえるくん></p> <ul style="list-style-type: none"> ・かたつむりくんはまだかなあ。 ・がまくんが喜んでくれて嬉しいな。 ・がまくんと友達でいられて幸せだな。 <p>グループ学びで互いの考えを聞き合い認め合う。</p> <p>全体学びで、幸せな気持ちでお手紙を待つ二人の様子を想像させ、発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人ともにここにこしている。 ・肩を組んで仲良さそうにしている。 ・くっついて座っている。 ・口が笑っている。 ・優しい顔をして待っている。 <p>挿絵にも着目させる。</p> <p>第1場面の「かなしい気分」と比較させる。</p> <p>「ふたりとも」「とてもしあわせ」という言葉の意味を確認する。</p> <p>「～さんと同じで」「～さんと似ている」などの言葉を意識して使わせる。</p>	<p>二人の幸せな気持ちを想像することができたか。</p> <p>(ワークシート)</p> <p>二人の幸せな気持ちを想像させ、お互いを思い合う心や二人の友情に気付かせる。 <思考力></p> <p>考えたことを自分の言葉で表現しようとする態度を養う。</p> <p><表現力></p> <p>友達の意見を受け入れ、認めようとする態度を養う。</p> <p><受容力></p> <p>手紙を待つ二人の幸せそうな様子を想像することができたか。(挙手・発言)</p> <p>思いやりの心を深めるために、二人の幸せそうな様子を想像させ、共感させる</p> <p><受容力・表現力></p>
<p style="text-align: center;">まとめ</p> <p style="text-align: center;">5分</p>	<p style="text-align: center;">学習を振り返る場</p> <p>8 学習を振り返り、本時のまとめをする。</p> <p>9 次時の予告をする。</p>	<p>「親友」という言葉を再度確認する。</p> <p>課題について考えることができたか、友達の意見を認め合うことができたか、振り返らせる。</p> <p>友達の良かったところを発表させる。</p>	<p>学習課題について振り返ることができたか。(発言・観察)</p> <p>友達の意見について考えたことを発表させたい。</p> <p><表現力・受容力></p>

(4) 評価

がまくんとかえるくんの言動や手紙から、二人の幸せな様子を読み取ることができたか。

お手紙

アーノルド＝ローベル さく・絵
みき たく やく

お手紙が来るのをまっている、ふたりのようすを
考えよう。

『親愛なるがまがえるくん。ぼくは、きみが、ぼくの
親友であることを、うれしく思っています。きみの
親友、かえる。』

親友

- ・ 一番なかよしの友だち
- ・ 大すきな友だち

「とてもいいお手紙だ。」

四の場面の挿絵

とてもしあわせな気持ち

《ようす》

- ・ にっこり。
- ・ かたを組んでいる。
- ・ くっついてすわっている。
- ・ やさしそうな顔。

友だちを思いやっている